

2018年12月16日(日) 14:00~16:45 会場・在日本韓国 YMCA



## 《BDS japan 発足集会》

# あなたにもできる！イスラエル・ボイコット

現在、パレスチナの人びとは国際政治において事実上見捨てられた状況にあります。封鎖政策が続くガザではイスラエル軍の攻撃で多くの人びとが殺傷されてきました。西岸では国際法違反のイスラエル入植地建設とそれに伴う家屋破壊・土地収用が進められています。このような中で、安倍政権は、イスラエルとの軍事協力・交流を積極的に推進しています。

他方、イスラエルに対する草の根の BDS (ボイコット・資本引き揚げ・制裁) 運動が国際的に広がっています。これまでに、入植地関連プロジェクトから多国籍企業が撤退するなどの動きを実現し、日本でも、無印良品のイスラエル出店中止や百貨店からの入植地ワインの販売中止、イスラエル軍事見本市からのソフトバンク撤退等の成果を生んでいます。

そうした中、これまで個別に BDS 運動に取り組んできた団体・個人が集まり、BDS japan の発足に向け、準備を進めてきました。この度、多田謠子反権力人権賞を受賞することとなったパレスチナ BDS 民族評議会からヌーラ・エラカートさんをお迎えして、BDS japan 発足集会を開催することになりました。ぜひご参加ください。



**ヌーラ・エラカート**：ジョージ・メイソン大学准教授。弁護士。専門は国際人権・人道法など。学術誌 *Journal for Palestine Studies* 編集委員。Al-Shabaka (パレスチナ政策ネットワーク) 顧問。「対イスラエル学術文化ボイコット・キャンペーン」助言委員を務めるなど、BDS 運動のスポークスパーソンとしても活動。著書に *Justice for Some: Law and the Question of Palestine* (近刊) など。



**勝侯誠**：明治学院大学名誉教授。専門は開発経済学、アフリカ地域研究。白人政権下南アフリカに対する反アパルトヘイト運動や西サハラ解放運動の支援等、第三世界との草の根の連帯運動に積極的に参加。著書に『娘と話す世界の貧困と格差ってなに？』(2016年)、『新・現代アフリカ入門』(2013年)、『アフリカは本当に貧しいのか—西アフリカで考えたこと』(1993年) など。

日時 ●12月16日(日) 午後2時~4時45分(開場1時半)

会場 ●在日本韓国 YMCA 9階国際ホール

(JR水道橋駅より5分、地下鉄神保町駅より7分)

講演 ●ヌーラ・エラカート(ジョージ・メイソン大学准教授)  
※日本語通訳あり

勝侯誠(明治学院大学名誉教授)

参加費 ●一般 1000円・学生 800円

主催 ●BDS japan

連絡先 ●Email: [bdsmovement.japan@gmail.com](mailto:bdsmovement.japan@gmail.com)

Tel: 090-6486-3066(長沢)

**関連集会**  
12月14日(金) 午後6時半~8時45分  
「BDS japan 発足集会 in 関西」(エルおおさか)  
12月15日(土) 午後2時~3時45分  
「多田謠子反権力人権賞受賞発表会」(連合会館)

